

インゲ・G. チューリン、
ジョージ・W. バックレーの後任として3M社の社長兼最高経営責任者に選任

3M社(本社:米国ミネソタ州)は2月8日午前9時(現地時間)、「Inge G. Thulin Elected 3M President and CEO; Succeeds Sir George W. Buckley」と題するリリースを発表しました。当資料は、これを和訳したものです。



ミネソタ州セントポール(Business Wire)—3M社(ニューヨーク証券取引所上場銘柄:MMM)は本日、インゲ・G. チューリンが2月24日付で社長兼最高経営責任者に選任される予定であることを発表しました。チューリンは6月1日に退任予定の会長・社長兼最高経営責任者ジョージ・W. バックレーの後任となります。

チューリンは直ちに3M社の取締役会メンバーとなり、バックレーは5月8日の年次株主総会まで会長職にとどまります。この株主総会で、取締役会がチューリンを会長に選任する予定です。

主席取締役ヴァンス・D. コフマンは3M社の取締役会を代表して次のように述べています。「チューリンは、戦略・事業展開・分析の3つの能力を兼ね備えた実績のあるリーダーであり、多岐にわたるグローバルビジネスにおいて売上高の増加と経営の効率化の双方を達成してきました。彼の力によって3Mは今後ともイノベーションを推進力とした強力な成長を継続できるでしょう。」

チューリン(58才)は、2011年5月に3M社の6つの事業部門と海外事業を担当する最高執行責任者に就任し、それ以前は海外事業担当執行副社長を務めていました。チューリンのリーダーシップのもと、海外での売上高は現在の3Mの総売上高の3分の2を占める、およそ200億ドルに成長しています。チューリンは、アジア太平洋、欧州、中東各地域で多様な事業部門を統括するポジションを歴任してきました。

チューリンはヨーテポリ大学でマーケティングと経済学の学位を取得しています。現在はトロカンパニーの取締役でもあります。

バックレーは2005年12月に会長・社長兼最高経営責任者に就任しました。3Mの成長とイノベーションの活性化を推進し、2011年には過去最高の300億ドルの売上高を達成しています。このうち新製品の売上高は約3分の1を占めています。

「6年間にわたり卓越したリーダーシップで3Mをけん引してきたバックレーに感謝します。彼は近年最も厳しい経済情勢の中で3M社を適切に導き、素晴らしい業績を達成しました」とコフマンは述べています。